

木材図鑑

index ▶ 国産広葉樹 ▶ 国産針葉樹 ▶ 南洋材 ▶ 北米材 ▶ アフリカ材 ▶ 中米・南米材



● 樹種名

ヘムロック hemlock

[その他の名称]

ウェスタンヘムロック、**ベイツガ**、ペイトガ【米樺】

● 科目

マツ科ツガ属の常緑針葉樹
学名：Tsuga heterophylla Sarg.

● 産地

北アメリカ大陸

● 色調

辺材は白っぽく、心材は白味を帯びた淡黄褐色。木目は明瞭。米松より黄色味が強いのが特徴。



● 性質

光沢があり、肌目はやや粗い。加工性が良いが、やや折れやすい。
気乾比重：0.46

● 用途

建築材、構造材、造作材、建具材、箱材、パルプなど

● 備考

乾燥すれば無味無臭である。

世界の広葉樹をお届けします **Shop-ink**

Do It Yourself **応援隊!** 板一枚でも加工
木材のカット販売

家具木工用語辞典 辞書検索

家具と木製雑貨 **DIY 銘木 SHOP** 家具 & 木工 加工エンジン

※ この用語辞典で木材の検索も出来ます。

制作：府中家具工業協同組合



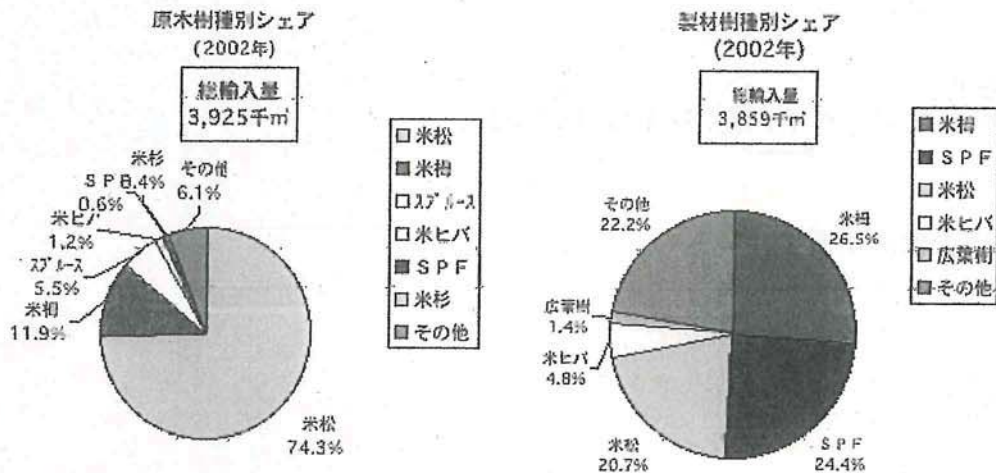
HOME > もっと木材を知ろう！ > 輸入木材について > 輸入材のご紹介 (米材) > 樹種別輸入量

輸入材のご紹介



樹種別輸入量

北米大陸からは針葉樹を主体に多様な木材が輸入されていますが、原木として輸入されるものと、製材で輸入されるものとは構成比率が大きく違います。



原木輸入量の約4分の3を米松が占めています。製材品では米杉、SPF、米松、米ヒバの4樹種で4分の3余となっています。

◀ BACK

Copyright (C) Tokyo Mokuzai Tonya Kyoudou Kumiai 2004

▶ お客様情報に関する基本方針
(般-16) 第100232号



お知らせ・更新情報・イベント情報

12.1.14(土)	【 <u>実例集</u> 】“スタンダードな趣き”を追加しました(1/17UP)
11.12.25 (日)	【 <u>ユーザー様専用</u> 】鏡餅をつくる年末餅つき大会(12/26UP)
11.12.16 (金)	【 <u>工事現場から</u> 】桜川の家(12/24UP)
11.12.22 (木)	【 <u>工事現場から</u> 】ゆるやかな屋根の家(12/24UP)
11.12.22 (木)~	【 <u>実例集</u> 】“グランドピアノのある無落雪の家”を追加しました(12/22UP)

建築ポリシー ▶

資料請求はこちら ▶

[県木住ブログはこちら](#)

企業組合県木住

〒030-0813 青森市松原1丁目
16-25

青森県森林組合会館2F

TEL. 017-732-5333

FAX. 017-732-5777

私たちは、自然素材を取り入れた青森県産材の木の家をつくっています
施主参加型の家づくりで健康住宅を叶えます

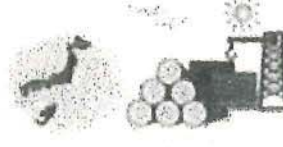
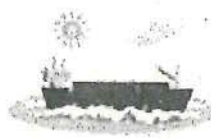
県木住の家づくり

県木住

輸入木材は天然無垢材にはなり得ません・・・輸入木材は薬剤処理が不可欠なのです

■日本の木造住宅の8割は輸入木材で造られています。これはとつても不自然なことなのです。日本は国土面積に対する森林面積の割合は67%、世界第3位です。森の国に思えるカナダは39%しかありません。しかし、日本の住宅用の木の8割は輸入木材です。大量買付けにより安価に輸入しています。外国材の大半は北欧やカナダの原生林の大径木によるものです。住宅用として狂いねじれが少ないのは米ヒバ・米マツですが、近年輸入量の多いホワイトウッドは、とても湿気に弱く腐りやすい木材です。※(県産・国産木材を使う)参照 そのため、扱いを楽にして輸送コストを下げるため防カビ・防腐処理が行われて輸入されます。

■輸入材が建築材になるまで



諸外国で大量伐採 (生木)	生木に防腐防カビ剤を添加輸出 (薬品添加木材)	約1~3ヶ月間の航海伐採からは約6ヶ月	未乾燥で日本へ	税関の検査等で国内の港に約1ヶ月保管	材木市場へ	製材後、または乾燥時にも薬品添加
------------------	----------------------------	---------------------	---------	--------------------	-------	------------------

丸太で輸入される場合、日射と雨風にさらしっぱなしの長い船旅の間、生木を腐食やカビから守るために薬剤を使うのは不可欠です。更に丸太に関しては防虫処理が義務付けされています。無添加安全木材とは一切の薬剤を使わない木のことで、コスト優先の輸入木材は輸送時点で薬品添加木材になってしまいます。その後陸揚げされて、製材後に再度薬品を注入します。また乾式という乾燥材への薬品注入もあります。それらの木材で集成材に加工されないモノは薬漬けでも『無垢材』として流通されています。また、製材してから輸入される場合、防虫処理は義務付けられていませんが、これもコスト優先でコンテナに隙間なく詰められて蒸し蒸しの状態で輸入されることと、長期在庫を可能にする関係上、防カビ・防腐処理は不可欠です。完成間近にはクロス貼りで、その存在がほと

んど見えなくなります。コスト低減目的の輸入材ですが、それはどうしても薬品が浸透した建築木材になってしまいます。

■青森県産材が県木住の家になるまで



樹齢50年 乾燥後の変形を
前後の材を 加味して大きめ
計画伐採 製材
(生木) (無添加のまま)



人工乾燥
(無添加のま
ま)



乾燥後の変
形を修正(無
添加のまま)



養生
(無添加のま
ま)



無添加のまま県木
住の家へ

『県木住の家』は全て国産材、しかも、殆んどが県産材を使用します。管理にとっても気を使いますが、伐採から完成まで薬剤処理を一切行わない、安全な100%無添加木材を使用した家になります。伐採後に製材し人工乾燥された木材は、木の長所を活かしたまま充分に水分が抜けていますから、後々の狂いも少ない建築材になります。様々な薬剤処理や間違った塗装処理を行って無垢材の良さを失ってしまっている材料でも平気で『無垢材』と伝えている建築屋さんもありますが、私たち県木住は、住む方々に健康被害を与える可能性がある不必要な処理をした木材は『無垢材』と言いません。100%無添加の木材のみを『無垢材』と言っています。

[前のページ](#)

[ページ先頭](#)

[ホーム](#)

